

「平成29年度 北斗市立大野中学校 学校関係者評価」 結果

学校関係者評価対象者：学校評議員5名及びPTA会長・副会長3名 合計 8名

校訓	自覚 連帯 創造	重点教育目標	生徒の自主性を生かし、自己肯定感の醸成と深まりを育む教育活動の創造
----	----------	--------	-----------------------------------

※評価段階：A：よくできている B：だいたいよい C：あまりできていない D：できていない

項目	経営目標	経営目標の具体 / スクールプラン	評価項目：目標達成のための方策	参考にしてほしい取組	A 人 %	B 人 %	C 人 %	D 人 %	A=4, B=3, C=2, D=1とした場合の 平均値
確かな学力の向上	◇学習意欲を高める授業づくり ◇学び合いが生まれる授業づくり ◇家庭学習の習慣化	①生徒の意欲を高め、授業に集中させるための授業形態の工夫とICT機器の有効活用を図る。 ②体験的な学習、問題解決的な学習を通して思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ③個に応じた指導の充実を図る。 家庭学習時間2時間確保(35%→60%以上へ)	1 学校は、生徒の意欲を高め、授業に集中させるために授業を工夫している。	○学校改善プラン ○全国学力・学習状況調査、総合学力調査の結果分析 ○学校評価の実施 ○授業参観・授業交流週間(10月)、教科相談日、放課後学習日、長期休業中の学習会、各種テストへの取組、家庭学習ノートの提出 ○生活リズムチェックシート、各種テスト計画表	7人 87.5%	1人 12.5%	0人 0%	0人 0%	3.9
			2 学校は、体験的な学習、問題解決的な学習を通して、生徒の思考力・判断力・表現力の向上を図っている。		6人 75.0%	2人 25.0%	0人 0%	0人 0%	4.3
			3 学校は、生徒一人一人に応じた指導を充実させ、家庭学習の習慣化を図っている。		2人 25.0%	6人 75.0%	0人 0%	0人 0%	3.3
豊かな心と健やかな体の育成	◇認め合い高めあえる集団づくり ◇望ましい学校生活の確立 ◇健康的な生活習慣の確立	①学年、学級、部活動等全校で生徒主体に自治的活動を工夫する。 ②教育相談や各種調査を充実させ、生徒の悩みや友人関係を把握し、いじめや不登校の未然防止を図る。 ③体育の授業や部活動、体育的行事を通して生徒の体力向上に努める。特に体力テストの結果改善に努める。	4 学校は、生徒会活動や学校行事、ボランティア活動等、生徒が自主的に取り組めるよう工夫している。	○いじめアンケート実施 ○全国学力学習状況調査結果分析 ○全国体力運動能力テスト結果分析 ○学校評価の実施 ○学級学年通信、学校だより、生徒の声や様子 ○大野中学校いじめ防止基本方針、ケイタイ教室、ピア・サポート集会、道徳地域公開授業 ○授業参観、懇談会、保護者会、各種行事の様子	5人 62.5%	3人 37.5%	0人 0%	0人 0%	3.6
			5 学校は、生徒の悩みや友人関係を把握し、いじめや不登校の未然防止・早期解決・再発防止を図っている。		2人 25.0%	6人 75.0%	0人 0%	0人 0%	3.3
			6 学校は、地域への道徳の授業公開を実施し、人権や情報モラルの指導の充実を図っている。		6人 75.0%	2人 25.0%	0人 0%	0人 0%	3.8
			7 学校は、体育の授業や部活動、体育的行事を通して生徒の体力向上を図っている。		5人 62.5%	2人 25.0%	1人 12.5%	0人 0%	3.5
			8 学校は、警察や医療機関と連携し、交通安全や薬物乱用防止等の指導の充実を図っている。		5人 62.5%	3人 37.5%	0人 0%	0人 0%	3.6
地域に根ざし信頼される学校	◇学校と家庭、地域、小中高連携強化 ◇開かれた学校づくり ◇地域人材の活用	①本校の学力の状況を保護者等に周知し、説明責任を果たす。 ②小中高連携(授業見学、交流、出前授業、体験入学、説明会)。 ③保護者が学校に良く来ると生徒が答える割合を増やす(目標59%→70%以上へ)	9 学校は、学校だよりや学級通信、ホームページ等で、学力の状況を保護者や地域に周知し、説明責任を果たしている。	○参観日での授業アンケート結果の共有 ○保護者アンケート実施 ○家庭での状況 ○給食指導等食育の取組 ○各種行事や授業参観部活動等 ○学校評価の実施 ○学校関係者評価の実施	6人 75.0%	2人 25.0%	0人 0%	0人 0%	3.8
			10 学校は、校区内の小学校と連携し、9年間を見通した教育に取り組んでいる。		3人 37.5%	5人 62.5%	0人 0%	0人 0%	3.4
			11 学校は、保護者や地域の人々が授業参観や体育大会、オンネペツ祭などの学校行事に多く集まるよう工夫している。		5人 62.5%	3人 37.5%	0人 0%	0人 0%	3.6
			12 学校は、「大野地区子どもを健やかに育てる会」(地域連携協議会)を活用し、地域と情報の共有化を図っている。		4人 50.0%	4人 50.0%	0人 0%	0人 0%	3.5
			13 学校は、職場体験学習等で、地域を積極的に活用している。		4人 57.1%	4人 50.0%	0人 0%	0人 0%	3.5

大野中学校の活動の取組や生徒の様子について御意見

○学校をはじめ先生方一生懸命に御指導にあたられていると思います。今後ともよろしく願い申し上げます。

○「生徒に地域が役立てること」をテーマに生徒会役員と懇談したが、すでに生徒が取り組んでいることについて次々と発言があり、様々な取組の多さと、活動の意義を理解し主体的に取り組んで切る様子に自信と誇りを感じ、頼もしく思った。

平成28年
度の平
均値

3.7

3.4

3.4

3.7

3.0

3.6

3.7

3.4

3.9

3.1

3.7

3.4

3.6

昨年度
より

0.3以上

0.3以下